

大学名 国立大学法人高知大学

第70号 特集テーマ「博士人材の活躍」

表題 黒潮圏域の博士人材による国際連携ネットワークの拡大

全国初の文理融合型独立研究科として2004年に設立された黒潮圏海洋科学研究科では、黒潮流域の台湾及びフィリピンとの国際連携体制を構築し、その中核をなす学際性と国際性は、2008年に一元化した文理統合型大学院「総合人間自然科学研究科」に引き継がれてきた。同研究科の黒潮圏総合科学専攻として、外国人留学生を積極的に受け入れており、全修了生の半数に上っている。

フィリピン人修了生による同窓会組織設立



同窓会設立記念イベント(オンライン)

2014年度より、「国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム」を活用し、黒潮源流にあたるフィリピンからの留学生を積極的に受け入れてきた。2019年9月までに12名が学位を取得し、そのほとんどがフィリピン国内でアカデミックポストに就いている。この強みを活かし、2020年に「高知大学フィリピン人修了生同窓会」を設立し、修了生間の連携強化を図った。その後も留学生数や修了生との共同研究数が着実に増加し、フィリピン人修了生数の累計は2025年度には約30名、2028年度までには約40名に上る見込みとなっている。



修了生間の連携拡大



オムニバス講義の講師委嘱

常時10名前後の日本人学生及び外国人留学生が就学していたことから、同時期に在籍した修了生間の共同研究が始まっている(インドネシア、ベトナム、フィリピン、日本)。さらに、新たな連携のきっかけとして、2024年1月には大学教員や研究者として活躍する東南アジア諸国の修了生によるオムニバス講義を通じて、学生及び修了生間の相互連携の推進を図る予定である。



期待される成果

このほか、本学では**博士課程入学者全員の入学料を不徴収**とする取組や、学業等成績優秀者への**授業料免除及び学修奨励金の支給**などの経済支援も行っている。

各指導教員と修了生との個別連携では広がりには限界があるが、修了生による横展開を組織的に支援することで、資金・人材に限りがある地方国立大学でも国際連携の充実を図ることができる。



参考:黒潮圏総合科学専攻HP

<http://www.kochi-u.ac.jp/kuroshio/index.html>